

第1章 聞き取り調査の概要

1 調査の目的

産業構造の高度化、技術革新、情報化の進展、経済社会の変化に対応して生産現場における製造ラインのFA化が進み、従来型熟練技能の必要性が希薄になっている現状の中で、FA化された生産現場に対応する熟練^技機能の能力開発の実施方法の方向性を、従来型熟練技能と新たに必要とされる熟練技能との対比をとおして思考するため、消滅してゆく技能とそれに代わる新進の技能との相違点を把握することを目的とする。

2 調査対象施設

本プロジェクト委員の勤務地近在のFA化された事業所を対象とし、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、その他（化粧品製造業）の15事業所17施設とした。

3 主な調査事項

- ・企業分類
- ・従業員数等（会社全体）
 - 「技術者」と「技能者」の区別
- ・FA化された生産現場に存在する技能の実態
 - 1) 自動化の導入とその効果及び問題点、2) 工程（または作業）の変化、3) 技能の変化、4) 自動化された工程における人的配置の変化、5) 自動化された工程に従事させるための教育訓練
- ・FA化の進展に伴う生産現場で、今後、新たに必要とされる技能
 - 1) 従来技能の必要性、2) 今後、新たに必要とされる技能

4 調査の方法

事前に聞き取り調査票を送付し、後日調査員が訪問する聞き取り調査

5 調査の実施期間

平成7年9月7日(木)～10月25日(水)